

NEO・ZONEの効果一覧表

◆JIS試験に基づいた試験結果。

抗菌性試験

・抗菌性試験/JIS L 1902 :2015 菌液吸収法にて実施。

< 試験機関:一般財団法人 カケンテストセンター >

・黄色ブドウ球菌 Staphylococcus aureus NBRC12732		
	接種菌数 cfu/mL	18時間後 cfu/mL
・標準白布	27,000	7,420,000
・NEO・ZONE	24,600	<20

< 試験機関:地方独立行政法人 大阪工業研究所 >

・大腸菌 Escherichia coli NBRC3972		
	接種菌数 cfu/mL	18時間後 cfu/mL
・標準白布	14,000	75,000,000
・NEO・ZONE	14,000	<20

< 試験機関:一般財団法人 ポーケン品質評価機構 >

・MRSA Staphylococcus aureus IID1677		
	接種菌数 cfu/mL	18時間後 cfu/mL
・標準白布	19,952	5,011,872
・NEO・ZONE	19,952	<20

< 試験機関:一般財団法人 ポーケン品質評価機構 >

・肺炎桿菌 Klebsiella pneumoniae NBRC13277		
	接種菌数 cfu/mL	18時間後 cfu/mL
・標準白布	25,118	31,622,776
・NEO・ZONE	19,952	<20

カビ抵抗性試験

/JIS Z 2911:2010

< 試験機関:地方独立行政法人 大阪工業研究所 >

< 試験カビ > ・27度 ・湿度約95%rh /28日間実施

・Aspergillus niger NBRC105649 ・Penicillium citrinum NBRC6352

・Cladosporium cladosporioides NBRC6348 ・Chaetomium globosum NBRC6347

カビの発育	7・14・21・28日間	(カビの抵抗性)結果
・NEO・ZONE	28日間経過	0

*0---カビの発育は認められない。

消臭性試験

消臭性試験/検知管法・ガスクロマトグラフ法

< 試験機関:一般財団法人 ポーケン品質評価機構 >

< 繊維評価技術協議会 SEKマーク繊維製品認証基準 準用 >

		2時間後(減少率)
・NEO・ZONE	アンモニア	99%
	イソ吉草酸	99%
	ノネナール	97%

NEO・ZONE・ウイルスへの効果

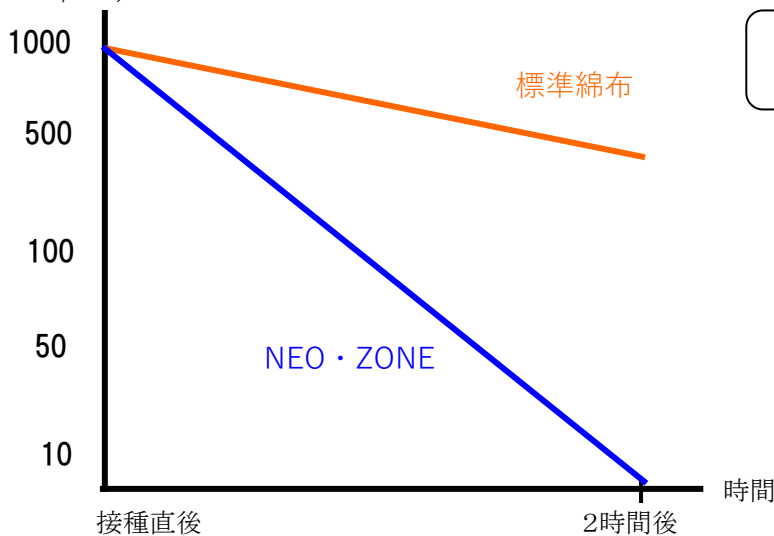
- ・ インフルエンザウイルス
- ・ ネコカリシウイルス（ノロウイルス代替） / （試験結果グラフ）

● NEO・ZONEには抗ウイルス性能があります●

ネコカリシウイルス／ノロウイルス代替

接種ウイルスの感染価
(PFU/mL : ×10,000)

抗ウイルス試験：ネコカリシウイルス



抗ウイルス活性値: 3.0

< 参考数値 >

接種直後：数値=912

標準綿布：数値=416

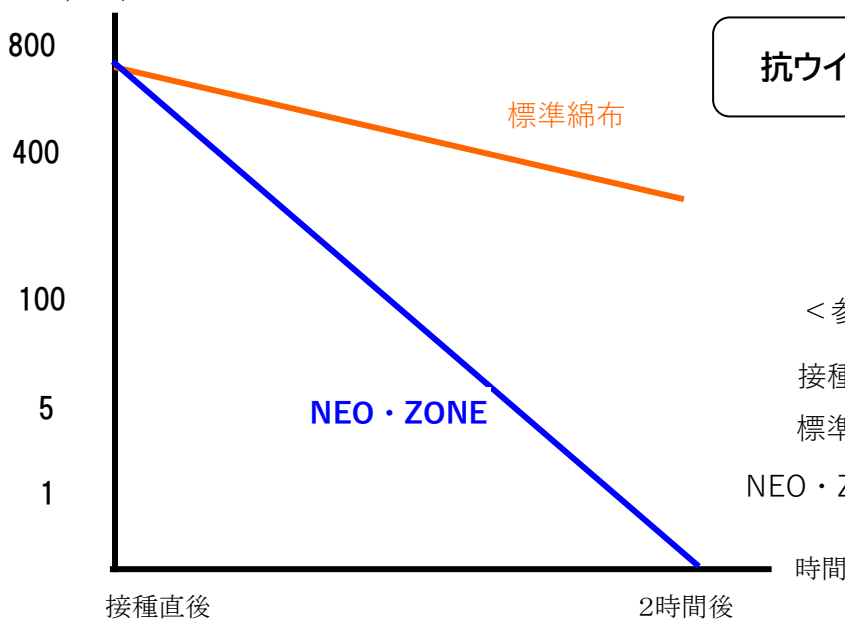
NEO・ZONE：数値=1

試験方法 / ISO 18184
(ATCC VR-782)

インフルエンザウイルス

接種ウイルスの感染価
(PFU/mL : ×10,000)

抗ウイルス試験：インフルエンザウイルス



抗ウイルス活性値: 4.6

< 参考数値 >

接種直後：数値=708

標準綿布：数値=295

NEO・ZONE：数値=0.019

試験方法 / ISO 18184
(ATCC VR-1679)